



ななサポ



越谷市市民活動支援センターでは7つのサポート(ななサポ)を行っています。

発行元：越谷市市民活動支援センター 〒343-0816 埼玉県越谷市弥生町16-1 越谷ツインシティBシティ5階 URL <http://koshigaya-activity-support.info/>



団体の事務所兼活動センター「世一結」

通勤や通学で車椅子の方や身体が不自由な方に声をかけた経験はありますか？「何をすれば良いのか分からない」「自分を声をかけると反対に迷惑になってしまうのではないか」と躊躇してしまうという方がいるかもしれません。

「NPO法人障害者の職場参加をすすめる会」は、ノーマライゼーション社会の実現を目指し活動しています。事務所では、月に2回の野菜や古本の販売、「コピー機のサービス、専門の方に教えてもらいながら革細工などのモノ作り、曜日ごとに決められた電話当番やお客様の対応をしています。公園での花壇の整備作業やグループワーク、商店街に飛び込み訪問をし、職場体験をお願いして雇用を繋げるなどの活動も行っています。また、何も知らない方が事務所を訪れた際に自分たちがどのような生活をしているか、団体内でのように過ごしているかを伝えることが活動の中心部分です。この会ではほとんどの活動を屋外で行っています。それは、障がいがあるからと内に引き込まれているのではなく、外へ出て町の方や色々な方と関わることを大切にしているからです。そのため障がい

NPO法人 障害者の 職場参加をすすめる会



「世一結」のみなさん

者を対象としたイベントだけではなく、様々なイベントに参加しています。9月11日には当センターの「センターまつり」にも参加しました。

代表の山下さんは、「ノーマライゼーションが叫ばれば叫ばれるほど特別扱いされてしまう。しかし、実際は世間が考えるほど特別なことはなく、どんな人がどこにいてもいい。ノーマライゼーションのために特別なことをしなくては構えずに、それを自然と当たり前にすることがノーマライゼーションにつながる」と言います。

障がい者としてではなく、人として色々な場面で出会って挨拶をしたり、困っていたらどうすればいいか一緒に考えたりして「自己流」で助け合う。その場を共有することがノーマライゼーションの第一歩になるのです。声をかけ会話をするだけで、それはもうノーマライゼーションなのです。

